



\*2011年 初夏号\* (2011年5月26日発行)

## 理事長就任ご挨拶

このたび、4月1日付で理事長に就任いたしました。

医療法人尚和会は昭和42年に大室病院を前身として設立されました。その後宝塚第一病院へと名称を変更。阪神淡路大震災による危機を乗り越えて、今では急性期の宝塚第一病院、回復期の宝塚リハビリテーション病院、そして介護老人保健施設のケアヴィラ伊丹、ケアヴィラ宝塚の4施設を有するまで発展してきました。そして医療・介護をとおして地域への貢献を評価いただいています。

しかし、医療・介護の将来は不確実な要素が多くあり不透明感が増しています。特に東日本大震災の影響は避けられません。これからも地域から信頼される医療法人尚和会であるために、よき伝統は引き継ぐとともに、時代の変化にすばやく対応して、チャレンジ精神をもって新しいことにも挑戦していきたいと考えています。

今後とも一層の御指導、御鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



理事長 院長 那須 範 満

## 医師 人事・着任など



副院長 大室達也

この度、副院長に就任致しました大室達也でございます。病気を見るのではなく『人を診る』をモットーに、それぞれの患者さまにとって最も適切な治療をすることを心がけております。

しっかり診療させていただくために、長時間お待ちいただくこともあるかとは思いますが、ご理解いただければ幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

## 着任しました！

消化器内科部長 新見 健

こんにちは！新見 健です。この度、消化器内科部長として赴任しました。永年、外科の畑で働いてきたので内科は初めてです。新1年生のつもりで、ピカピカの白衣で頑張りたいと思いますのでよろしくお願い致します。



日本消化器病学会指導医  
 日本大腸肛門病学会指導医  
 日本外科学会指導医  
 日本消化器外科学会指導医

内科医長 森田 毅



非常勤で外来していましたが、この度4月より常勤となりました。主に消化器系を専門としており、内視鏡治療や化学療法を中心に診療しています。

内科医師 吉田康郎



専門は消化器ですが、循環器や糖尿病など幅広く丁寧に診察しますので、何なりとご相談下さい。

## 新入職員 研修風景

4月1日、医療法人尚和会の入社式が行われ、71名の新入職員を迎えました。うち、36名が宝塚第一病院に配属となりました。新入職員は法人全体のオリエンテーションの中で医療人としての心構えを座学やグループワークを通じて学び、また、救急蘇生等の演習を受けました。その後、各施設・各部署ではそれぞれ専門職としてのオリエンテーションを受けました。



「新人の看護師・メディカルクラーク・事務職員は初心者マーク（胸にリボン）」を付けています。不慣れな点もございますが、患者様のために一生懸命頑張っておりますので、宜しくご指導をお願い致します。

# 宝塚第一病院 栄養部です

災害等の非常時用として、入院患者様の3日分の食材を院内に備蓄しています。患者様に合った形態を提供できるよう、主食も数種類揃えています。

○アルファ米 熱湯を注ぐだけ。約20分でご飯ができます。常温で5年間保存できる優れものです。炊き上がったご飯を乾燥させたのがアルファ米。学校給食でも使われているので、口にされた方も多しはず。粥タイプもあります。



○レトルト粥（ミキサータイプ）

○ペットボトル入り飲料水

これ以外に、通常の献立で使っている食材のうち、保存の利く冷凍食品のおかずやリンゴジュース、また口から食事が摂りにくい方の濃厚流動食等を非常用として余分にストックしています。

16年前の阪神淡路大震災の経験から、貴重な飲料水を確保するために、終業時には一番大きな釜に水を溜めて帰ることは毎日欠かさず続けています。これでコップ1杯の水を500人に提供できます。

この度の東日本大震災から学ぶことは多く、非常時の備えを再確認し、より安心して対応できるようにしていきたいと思います。



3月11日に発生した国内最大の東北地方太平洋沖地震によってお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の方々、並びに被災地の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

東北をはじめとする多くの地域で甚大な被害がもたらされておりますが、安否不明の方々の救出、負傷された方々のご回復とともに、一日も早い被災地の復旧がなされますようお祈り申し上げます。

16年前の阪神淡路大震災では、当院も大きな被害を受けました。この時の状況を早い時期に記録しておこうとその年の5月に手作りの冊子「阪神大震災 その時第一病院は…(人がひとを救うということ)」を発行しました。

今回、被災された病院から依頼があり、この冊子をお届けしましたら「とても参考になった」と感謝の言葉を頂きました。

この冊子は、アメリカの国会図書館にも保管されていますが、日本では神戸大学の震災文庫に保管され、インターネットで閲覧することが可能です。関心のある方は、検索してみてください。

\* 神戸大学 震災文庫 「その時第一病院は」



## 看護の日 記念コンサート

「5月12日 看護の日」を記念して、ハンドベルコンサート

を内科前ホールにて開催しました。[5月14日(土)開催]

ホーリーベルスによる素敵なお演奏で、とても楽しいコンサートとなりました。



## コラム THE KYOKUCHO Vol. 1

先日、両親の住む家の物置を整理していると、私が30年前に月給の3か月分もかけて夢と希望を持って購入したパソコンが出てきました。ちょうど「マイコン」から「パソコン」に名前が変わる時ぐらいの代物ですが高価だったゆえに捨てることができず、埃をかぶっていたのです。当時はWindowsのようなOSもなく、プログラムはBASIC言語をキーボードから一字一句打ち込むのが主流でした。その後、自作分も含めて8台も買ってしまいましたが、実感として現在のパソコンの性能は当初のものと比較して数万倍です。今や生活のあらゆる面でIT技術が使われています。宝塚第一病院は、医療業界でIT化が相対的に遅れている中であって、早くから電子カルテを導入し、昨年11月からは最新のものに更新されています。患者さまの情報を共有化することで安全な医療サービスが提供でき、会計処理もスムーズになります。将来的には全国の病院がオンライン化されることも夢ではなさそうです。 事務局長 芝